

奈良印良品

じるし りょう ひん

～キラリと光る 人・もの・知恵～

VOL.15

ならで活躍する人、ならから始まるもの、優れた技術や知恵を紹介します。

◀原料シート製造機の前で、「ウサギとかメの物語が好きです。これからは油断せず、地道な努力を続けたい！」と栗原社長。



おたくの冷蔵庫にも栗原がいます

私たちの食生活に欠かせない卵。卵を買うときはたいいていプラスチックのパックに入っています。その卵パックで全国トップシェアの企業が、ここ奈良にありました！

日本で最初に卵パックを作られたとお聞きしましたが、なぜ卵パックを作ろうとされたんですか？

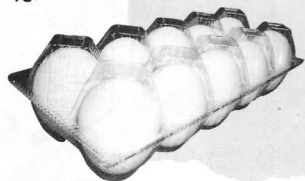
卵は消費量があまり減らないだろうと思いき、また当時は、スーパーマーケットが増えてきた頃だったので、流通が盛んになって安全に運べる卵パックが必要になると考えたからです。

APEET樹脂製に、いち早く素材を変更したのはなぜですか？

以前は塩化ビニール製が一般的でしたが、ダイオキシン問題が生じたときに、「今後は環境に配慮した企業の製品が求められるようになる」と考え、思い切って変更したんです。他企業が安価な塩化ビニール製を作り続けている中で、最初は値段も高かったのですが、売れずに苦労しましたね。

それが今や全国のトップシェアですね。成功の秘訣はどこにあると思いますか？

当社の経営方針である「Q（クオリティー・より良い商品）・C（コスト・より安く）・D（デリバリー・より速く出荷）・V（バリエーション・多くの種類を揃える）」を徹底したからだと思います。



APEET樹脂への転換はこのQに当たります。以前は中堅クラスでしたが、徹底したコスト削減（C）で価格を大幅に下げることができ、トップシェアに。コスト削減のため、原料シートも外注せず自社で製造するようにしました。初期投資はえらいかかりましたけどね（笑）。やっぱり楽しかったらアカン！人ができることをやらんと。



▲次々と卵パックが製造されている

本社を東大阪から奈良へ移転されていますが、これはどうしてですか？

東大阪は家が建て込んできたため、広い工業団地を探していました。そんなとき、奈良は近くにあり、災害もなく、世界遺産があるなど知名度もあることから、移転を決めました。今では社員のほとんどが奈良県出身です。

最後に、御社への就職を考えている若者へ一言お願いします。

当社の社員には「社長になった気持ちになれ」といつも言っています。社員一人一人が社長の気持ちでやる気を出せば、会社全体が活気づく。今の若い人にはもっと成功欲・出世欲を持って、「人のできることをしよう」という気持ちでいて欲しいですね。

株式会社 栗原製作所

所 大和郡山市池沢町90・8
 0743・56・2207
 0743・56・2217
 www.pack-kurihara.co.jp/

昭和36年創業。ペットボトルをリサイクルして、卵のパックを製造・販売。1日500万パックを生産。社長の座右の銘は「人生には、勇気と努力と忍耐が必要である」。その座右の銘を地で行く社長だからこそ、業界トップにまで発展されたのだなと感じた取材陣でした。



▲「卵パックの製造は、試行錯誤の繰り返しで苦労しました」と語る代表取締役社長の栗原照次郎さん。